

□ 要請番号 (JL61819B06)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
マダガスカル	H107 助産師	20~45歳のみ	個別	交替 3代目	2年	・2020/1・2020/2・ 2020/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

保健省

2) 配属機関名 (日本語)

ミアリナリヴ郡保健局

3) 任地 (イタシ県ミアリナリヴ郡ミアリナリヴ市) JICA事務所の所在地 (アンタナナリヴ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで約3.0時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は人口24万7千人を抱えるミアリナリヴ郡の保健局で、郡内14市内に位置する27の基礎保健センター(CSB)を管轄している。各市のCSBにおいては、地域住民らを対象に、一般診療、妊婦健診、予防接種、家族計画相談・推進などの保健医療サービスが提供されている。また配属先はイタシ県病院敷地内に位置し、同病院には、診療室、分娩室、病棟らの設備があり、母子保健に係る啓発なども行われている。年間予算は、約230万円。2016年から青年海外協力隊員(JV)(看護師)が派遣されていた。同県は、2019年3月から開始されたJICA技術協力プロジェクト「食と栄養改善プロジェクト」の対象県の一つである。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

当国の保健医療サービスは、各市のCSBにて、一般診療、母子保健、予防接種などが実施されており、またその指導の下、各地区に配置された保健ボランティアが村落部を巡回しながらサービスを提供している。しかし、予算や人員の不足、住民らの情報不足、センターへのアクセスの難しさなどの問題から、これらサービスは住民らに十分に行き届いておらず、母子保健、衛生、健康、栄養状況などにおいて未だ多くの課題が残る。そのような状況下、これまでの看護師JVは、配属先他、母子保健管理局(SSECALINE)、県栄養局(ORN)、地域の学校等と協力しながら、母子保健、栄養・衛生教育啓発活動を行った。今般、引き続きこれら活動を継続・拡大させ、特に母子保健サービスの強化のために本要請に至った。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

配属先関係者、各市CSBスタッフ、保健ボランティア、ORN、学校関係者らと協力して、以下の業務を行う。

1. 配属先及び各CSB、SSECALINE及びその管轄地域において、妊婦を対象に、母子保健(妊婦検診受診の促進、家族計画など)、食生活・栄養改善(レシピの提案など)指導、保健衛生(手洗い、安全な水の利用)、感染症予防に係る啓発活動を行う。
2. 小学校など地域の教育機関において、性教育、衛生教育啓発活動(手洗い、歯磨き、安全な水の利用など)を行う。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

特になし。

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚::配属先局長:男性、50代 配属先医師:男性、40代
・助産師、女性、1名、30代 他

活動対象者:各市保健センターの医師、助産師、看護師、保健ボランティア
(20歳代～50歳代 女性多数)
・栄養局、地域学校の関係者、活動対象地域の母子や児童

5) 活動使用言語

マダガスカル語

6) 生活使用言語

マダガスカル語

7) 選考指定言語

英語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：(助産師)

[学歴]：() 備考：

[性別]：() 備考：

[経験]：(実務経験) 3年以上 備考：同僚への指導を行うため

任地での乗物利用の必要性

自転車

【地域概況】

[気候]：(温暖冬季少雨気候) 気温：(5～30℃位) [電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可) [水道]：(不安定)

【特記事項】

身体への侵襲行為は行わない。巡回地域はJVと配属先の話し合いで決定する。
乾季(6月～8月)は、市中心部で週4日ほど断水するが、住居による、(現JV住居は、水道貯水工事済み住居のため、ほぼ断水なし)